

別紙

I. 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措 置 名	交付金事業の名称	交付金事業者 名又は間接交 付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	文化会館管理運営事業	柏崎市	145,710,284	50,000,000	
2	福祉対策措置	元気館管理運営事業	柏崎市	216,681,093	180,000,000	
3	福祉対策措置	学校教育施設管理運営事業	柏崎市	453,536,583	360,000,000	
4	地域活性化措置	保育園運営事業	柏崎市	536,862,713	500,000,000	
5	福祉対策措置	特別支援学級介助事業	柏崎市	62,517,176	55,000,000	
6	福祉対策措置	老人保護措置委託事業	柏崎市	112,920,171	65,000,000	
7	福祉対策措置	高齢者予防接種事業	柏崎市	55,366,684	55,000,000	
8	福祉対策措置	予防接種事業	柏崎市	105,261,836	80,000,000	
9	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	産業文化会館管理運営事業	柏崎市	55,639,707	15,319,000	
計				1,744,496,247	1,360,319,000	

Ⅱ．事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称			
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	文化会館管理運営事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市			
交付金事業実施場所		柏崎市日石町（柏崎市文化会館アルフォーレ）			
交付金事業の概要		文化会館アルフォーレの指定管理料12か月分。 文化会館アルフォーレの安定的かつ効率的な管理運営と効果的な事業実施のため、指定管理者を指定し、「文化活動の広がり」と底上げを図る」、「質の高い活動へと引き上げる」及び「市民との連携を強化する」を基本理念とした文化振興事業を展開し、利用者の誘致、拡大を目指すとともに市民の芸術文化活動の振興と発展を図ります。			
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関係する主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第5章 魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～ 第3節 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる 2 市民の主体的な文化活動を支援する 施策の目標指標：文化会館アルフォーレ利用者数 164,220人（令和7年度） 目標値：文化会館アルフォーレ利用者数 164,220人（令和5年度）			
事業開始年度		令和4年度		事業終了（予定）年度 令和7年度	
事業期間の設定理由		柏崎市第五次総合計画 後期基本計画の終期まで			
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度 令和5年度
		文化会館アルフォーレ利用者数 164,220人	文化会館アルフォーレ利用者数	成果実績	人 118,584
				目標値	人 164,220
				達成度	% 72.2
		評価年度の設定理由			
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。					

交付金事業の成果目標及び成果実績	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	本交付金の活用により、文化会館アルフォーレの安定的かつ効率的な管理運営と効果的な事業を実施することができました。令和5年度の入館者数は、118,584人と目標としてきた164,220人に至らなかったものの、自主事業に関するアンケートでは、来場者数の満足度平均98%と高い評価を得ており、市民の芸術文化活動の振興と発展に寄与しているものと評価します。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	機関名：柏崎市文化会館アルフォーレ運営懇談会 構成員：民間による機関のため委員名等非公表 評価内容：S（管理が良好であり、特筆すべき実績・成果が認められる）					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	平常に運営できた日 （開館日数）	活動実績	日	308	306	309
		活動見込	日	308	306	309
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費等	令和3年度	令和4年度		令和5年度	備 考	
総事業費	138,400,000	148,506,375		145,710,284	平成28～令和5年度総事業費 1,041,913,392	
交付金充当額	50,000,000	50,000,000		50,000,000		
うち文部科学省分	0	0		0		
うち経済産業省分	50,000,000	50,000,000		50,000,000		
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
管理運営業務		随意契約（指定管理）		かしわざき振興財団・新潟照明技研共同事業体		145,710,284
交付金事業の担当課室		教育委員会文化・生涯学習課				
交付金事業の評価課室		教育委員会文化・生涯学習課				

Ⅱ．事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称			
2	福祉対策措置	元気館管理運営事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市			
交付金事業実施場所		柏崎市栄町（柏崎市元気館）			
交付金事業の概要		柏崎市元気館に勤務する保健師等の職員人件費（保健師20人、栄養士3人、歯科衛生士1人、理学療法士1人、保育士2人及び健診担当等職員10人　計37人）12か月分。 本市では、乳幼児期から高齢期までのすべての市民を対象とした、生涯にわたる健康づくりを目指しています。柏崎市元気館においては、元気づくりの推進、子育て支援の推進、相談支援体制の充実等の役割を担い、保健・福祉の総合的な拠点施設として市民に広く認知されています。 本交付金事業では、柏崎市元気館に勤務する保健師等を確保し、安定的な福祉サービスの提供を継続して行うことで、市民の健康維持と福祉の向上を図ります。			
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関係する主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画　後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第3章　健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～ 第1節　『健やかな』心と体をはぐくむ 1　心と体の健康づくりを進める 目標：元気館利用者数　29,000人（令和5年度）			
事業開始年度		令和5年度		事業終了（予定）年度	
事業期間の設定理由		令和7年度			
事業期間の設定理由		柏崎市第五次総合計画　後期基本計画の終期まで			
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度
		元気館利用者数 29,000人	柏崎市元気館利用者数	成果実績	令和5年度
				人	29,557
				目標値	29,000
		達成度	%	101.9	
		評価年度の設定理由			
		毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施			

交付金事業の成果目標及び成果実績	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	本交付金の活用により、保健・福祉サービスの総合的な拠点施設である元気館で子育て、保健業務に従事するための必要な人員を確保し、安定した施設運営を行うことができました。新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことに伴い、令和5年5月8日より一般開放を開始し、必要な対策や代替手段を講じながらも元気づくりの推進、子育て支援の推進、相談支援体制の充実を図り、市民の健康維持と福祉の向上に資することができたと評価します。 今後も市民の多様な保健・福祉ニーズに応えるための事業の充実、改善を推進するとともに、必要なマンパワーを確保し安定した管理運営を行います。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	平常に運営できた日 (開館日数)	活動実績	日	337	337	336
		活動見込	日	337	337	336
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費等		令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
総事業費		209,944,011	216,987,197	216,681,093	平成28～令和5年度総事業費 1,674,942,191	
交付金充当額		180,000,000	180,000,000	180,000,000		
うち文部科学省分		0	0	0		
うち経済産業省分		180,000,000	180,000,000	180,000,000		
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
人件費		雇用		保健師、栄養士、歯科衛生士、保育士、相談・健診担当職員37名		216,681,093
交付金事業の担当課室		福祉保健部健康推進課				
交付金事業の評価課室		福祉保健部健康推進課				

Ⅱ．事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称			
3	福祉対策措置	学校教育施設管理運営事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市			
交付金事業実施場所		柏崎市学校町ほか37件			
交付金事業の概要		柏崎市立小中学校及び学校給食共同調理場の管理運営経費（小学校20校、中学校11校、共同調理場7施設）12か月分。 学校教育施設は、児童・生徒がその発達段階やそれぞれの状況に応じた、適切かつ最善な教育を受けられるよう教育環境を整えることが求められています。 本交付金事業では、学校教育施設の光熱水費等の運営経費及び学校給食業務委託料を確保し、安定的な学校運営を継続的に行うことで、安全で快適な教育環境づくりの実現と安全・安心な給食を提供し、次世代を担う児童・生徒の健全育成の推進を図ります。			
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関する主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第4章 教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～ 第1節 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ 3 教育環境を充実させる 目標：児童・生徒約5,200人に対し、快適かつ安定的な教育環境の充実を図ります。 目標値：学校給食満足度アンケート「A評価」70%以上			
事業開始年度		令和4年度		事業終了（予定）年度	
事業期間の設定理由		令和7年度			
事業期間の設定理由		柏崎市第五次総合計画 後期基本計画の終期まで			
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度
		満足度アンケート「A評価」70%以上	共同調理場運営委員会によるアンケート集計値	成果実績	80
				目標値	70
				達成度	114.3
		評価年度の設定理由			
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。					

交付金事業の成果目標及び成果実績	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	学校教育施設の光熱水費等の運営経費及び学校給食業務委託料に本交付金を充当することにより、対象38施設において安定的な施設運営と安全・安心な学校給食の提供を行うことができました。新型コロナウイルス感染症拡大や原油価格高騰に伴う光熱水費高騰に見舞われながらも当初予定通りの学校運営日数や給食提供回数の確保ができました。このように適正な学校教育環境を提供し、年間延べ1,128,409食の安全・安心な給食提供を行ったことは柏崎の次世代を担う児童・生徒約5,200人の健全育成の推進に寄与できたものと評価します。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	機関名：学校給食共同調理場運営委員 構成員：小中学校長、PTA役員、保健所長、学識経験者等10人 評価内容：運営委員を対象とした学校給食満足度アンケートではA評価80%となり目標を上回る評価を得ています。					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	学校教育施設を平常に運営できた日（稼働日数）	活動実績	日	207	209	206
		活動見込	日	207	209	206
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	共同調理場を平常に運営できた日（最大稼働日数）	活動実績	日	207	202	203
		活動見込	日	207	202	203
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	提供食数（対象児童生徒数×給食回数）	活動実績	食	1,101,033	1,133,478	1,128,409
		活動見込	食	1,101,033	1,177,053	1,125,915
		達成度	%	100.0%	96.3%	100.2%
交付金事業の総事業費等	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考		
総事業費	418,231,149	487,845,825	453,536,583	平成28～令和5年度総事業費 3,527,980,910		
交付金充当額	360,000,000	370,000,000	360,000,000			
うち文部科学省分	0	0	0			
うち経済産業省分	360,000,000	370,000,000	360,000,000			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的	契約の方法		契約の相手方		契約金額	
学校給食業務委託	随意契約（技術提案）		株式会社メフォス		156,126,300	
			シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社		126,099,600	
電気使用料	随意契約		東北電力株式会社		5,842,762	
			柏崎あい・あーるエナジー株式会社		94,575,377	
ガス使用量	随意契約		北陸ガス株式会社		32,759,552	
L P G使用料	随意契約		株式会社ジェイエイサービス柏崎		4,164,484	
			石塚商店		19,503	
			株式会社サイサン		16,170	

	水道・下水道料	随意契約	柏崎市上下水道局	33,932,835
交付金事業の担当課室	教育委員会教育総務課			
交付金事業の評価課室	教育委員会教育総務課			

Ⅱ．事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称				
4	地域活性化措置	保育園運営事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市				
交付金事業実施場所		柏崎市学校町（柏崎保育園）ほか12件				
交付金事業の概要		公立保育園の正規職員人件費110人（13園、保育士90人・調理員20人）12か月分。 本市では、少子化の進行や保護者の就労環境の変化等に伴い、子育てを取り巻く環境が大きく変化しています。こうした中、保育園が市民の多様な育児ニーズに応える施設として果たす役割は大きく、適正なマンパワーの確保による安定した運営が求められます。 本交付金事業では、公立保育園（13園）に勤務する正規職員を確保し、安定的な保育サービスの提供を継続的に行うことで、多様な育児ニーズに応える子育て支援を展開し、地域住民の福祉の向上を図ります。				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関係する主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第3章 健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～ 第2節 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる 2 安心して子育てができる環境を充実させる 目標値：公立保育園定員充足率71.8% ※公立保育園定員充足率：公立保育園入園児童数÷公立保育園認可定員				
事業開始年度		令和4年度	事業終了（予定）年度	令和7年度		
事業期間の設定理由		柏崎市第五次総合計画 後期基本計画の終期まで				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	
		公立保育園定員充足率71.8%	公立保育園定員充足率：公立保育園入園児童数÷公立保育園認可定員	成果実績	%	67.1
				目標値	%	71.8
				達成度	%	93.5
		評価年度の設定理由				
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。						

交付金事業の成果目標及び成果実績	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	本交付金の活用により、公立保育園（13園）に勤務する正規職員110人（保育士90人・調理員20人）の人件費を確保し、安定的な保育サービスを提供できる適切なマンパワーが確保できました。このことにより、園児や保護者にとって安全・安心な保育環境が提供できたものと評価します。次年度も多様な育児ニーズに応える子育て支援を展開し、地域住民の福祉の向上を図ります。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	保育士・調理員の雇用量 （延べ交付金対象月数）	活動実績	人	1,436	1,282	1,180
		活動見込	人	1,500	1,429	1,320
		達成度	%	95.7%	89.7%	89.4%
交付金事業の総事業費等		令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
総事業費		560,792,525	537,707,376	536,862,713	平成28～令和5年度総事業費 4,560,390,075	
交付金充当額		510,000,000	510,000,000	500,000,000		
うち文部科学省分		0	0	0		
うち経済産業省分		510,000,000	510,000,000	500,000,000		
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
保育士・調理員人件費		雇用		保育士90名・調理員20名		536,862,713
交付金事業の担当課室		子ども未来部保育課				
交付金事業の評価課室		子ども未来部保育課				

Ⅱ．事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称			
5	福祉対策措置	特別支援学級介助事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市			
交付金事業実施場所		柏崎市学校町（柏崎小学校）ほか14件			
交付金事業の概要		市立小学校15校に配置する特別支援学級介助員（36人）の報酬（11か月分）及び通勤に係る費用弁償（9か月分）。 本市では、発達障害や知的障害、肢体不自由等のある児童が増加傾向にあり、特別支援学級における教育的な支援のニーズが高まっています。 本交付金事業では、特別支援学級に配置する介助員（36人）を確保し、安定した教育的支援の充実を継続的に行うことで、児童の健全育成を図ります。			
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関する主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 基本構想・後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第4章 教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～ 第1節 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ 2 地域ぐるみで子どもや若者を育てる 目標： 特別支援学級に介助員を配置することにより、日常生活動作の取得支援、学習活動の支援、機能訓練の補助等の個に応じた細やかな教育的支援を行い、児童の自立を支援し、適切な就学環境の確保を図ります。			
事業開始年度		令和4年度		事業終了（予定）年度	
事業期間の設定理由		令和7年度			
事業期間の設定理由		柏崎市第五次総合計画 基本構想・後期基本計画の終期まで			
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度
		児童の自立を支援し、適切な就学環境の確保を図ります。	—	成果実績	令和5年度
				目標値	—
				達成度	—
		評価年度の設定理由			
毎年度PDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。					

交付金事業の成果目標及び成果実績	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	特別支援学級介助員36人を確保できたことにより、特別な教育的支援を必要とする児童の心理的安定、個に応じた指導・支援の充実を図り、児童の健全育成の推進に資することができたと評価します。また、担任と連携を図り、児童との信頼関係を築くことができました。 発達障害等への理解が進んでいること、特別支援学級に在籍する児童の障害の程度や様子が様々であること等から、学校での教育活動全般における個に応じた支援がこれまで以上に求められています。こうした中、特別支援学級介助事業に本交付金を充当することにより、各小学校特別支援学級における個に応じた指導・支援の充実や、より適切な就学環境の確保が図られたと考えます。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	特別支援学級介助員の雇用量 (年度雇用人数×11か月)	活動実績	人月	385	407	396
		活動見込	人月	385	407	396
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費等	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考		
総事業費	58,850,138	62,475,944	62,517,176	平成30～令和5年度総事業費 342,189,744		
交付金充当額	50,000,000	50,000,000	55,000,000			
うち文部科学省分	0	0	0			
うち経済産業省分	50,000,000	50,000,000	55,000,000			
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額		
	人件費	雇用	特別支援学級介助員36名	62,517,176		
交付金事業の担当課室		教育委員会学校教育課				
交付金事業の評価課室		教育委員会学校教育課				

Ⅱ．事業評価個表（令和5年度）

番号		措置名		交付金事業の名称	
6		福祉対策措置		老人保護措置委託事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名			柏崎市		
交付金事業実施場所		柏崎市大字上田尻（養護老人ホーム御山荘）ほか2件			
交付金事業の概要		在宅生活が困難な高齢者を支援する養護老人ホーム入所措置委託料11か月分。 養護老人ホームは、「身体的、精神的な理由」、「環境上の理由」及び「経済的理由」により、在宅生活が困難な高齢者を支援する入所措置施設であり、低所得者でも安心して生活を送ることができる環境が求められています。 本交付金事業では、養護老人ホームの入所措置委託料を確保することで、安定した事業運営を行い、養護を必要とする高齢者を適切に措置し、生活の安定と心身の健康保持を図り、加えて、地域の高齢者福祉の向上を図ります。			
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関する法令 老人福祉法第11条第1項 交付金事業に関する主要施策・施策 柏崎市第五次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第3章 健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～ 第3節 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる 2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる 目標： 「身体的、精神的な理由」、「環境上の理由」及び「経済的理由」により、在宅生活が困難な高齢者を養護老人ホームに入所措置することで、低所得者でも安心して生活を送ることができる環境の確保を行い、生活の安定と心身の健康保持を図ります。また、本事業が地域社会における高齢者支援のセーフティーネットとしての役割を果たすことで、地域の高齢者福祉の向上を図ります。			
事業開始年度		令和4年度		事業終了（予定）年度	
事業期間の設定理由		令和7年度			
交付金事業の成果目標及び成果実績		柏崎市第五次総合計画 後期基本計画の終期まで			
		成果目標	成果指標	単位	評価年度
		措置者の生活の安定と心身の健康保持を図ります。	成果実績	－	令和5年度
			目標値	－	－
			達成度	－	－
		評価年度の設定理由			
		毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施			

交付金事業の成果目標及び成果実績	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	本事業が地域社会における高齢者支援のセーフティネットとして役割を果たし、地域の高齢者福祉の向上を図ることができました。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	養護老人ホームへの措置人数	活動実績	人	56	53	43
		活動見込	人	61	55	55
		達成度	%	91.8%	96.4%	78.2%
交付金事業の総事業費等		令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
総事業費		113,119,920	119,401,390	112,920,171	平成28～令和5年度総事業費 959,181,329	
交付金充当額		85,000,000	70,000,000	65,000,000		
うち文部科学省分		0	0	0		
うち経済産業省分		85,000,000	70,000,000	65,000,000		
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
老人保護措置委託		随意契約		社会福祉法人 柏崎刈羽福祉事業協会、社会福祉法人 愛光会、社会福祉法人 光道園		112,920,171
交付金事業の担当課室		福祉保健部介護高齢課				
交付金事業の評価課室		福祉保健部介護高齢課				

Ⅱ．事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称				
7	福祉対策措置	高齢者予防接種事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市				
交付金事業実施場所		柏崎市一円				
交付金事業の概要		高齢者インフルエンザ予防接種業務委託料4か月分。 予防接種法の規定に基づいて実施する高齢者インフルエンザ予防接種事業においては、市が予防接種業務委託医療機関へ委託料を支払う形で高齢者の被接種者負担金の一部を補助し、接種率の向上と安定した事業の実施に取り組んでいます。 今後は高齢化の進行に伴う事業費の増加が見込まれるため、安定した事業財源の確保が求められます。ついては、本交付金の充当により安定的な事業実施を図り、高齢者の感染症り患、まん延を予防することで健康的な市民生活を確保します。				
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に係る主要政策・施策 柏崎市第五次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第3章 健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～ 第1節 『健やかな』心と体をはぐくむ 1 心と体の健康づくりを進める 目標：高齢者インフルエンザ予防接種率 60％（令和5年度）				
事業開始年度		令和4年度		事業終了（予定）年度 令和7年度		
事業期間の設定理由		柏崎市第五次総合計画 後期基本計画の終期まで				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和5年度
		高齢者予防接種率60％	高齢者予防接種率：接種者数÷接種対象者×100	成果実績	％	55.1
				目標値	％	60.0
				達成度	％	91.8
		評価年度の設定理由				
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施						

交付金事業の成果目標及び 成果実績	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	本交付金の活用により、高齢者インフルエンザ予防接種を安定して実施することができました。 令和5年度の予防接種率は55.1%と目標に至りませんでした。予防接種に加えて手洗いやマスク着用など基本的な感染症対策が万全に行われたこともあり、重篤な症状になりやすい高齢者のインフルエンザ り患、まん延を防止し、健康的な市民生活を確保することができたと評価します。目標を達成できな かった要因の一つには、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、予防接種に対する意識 の低下があると考えています。 今後は新たに新型コロナウイルスの予防接種も定期接種として開始予定であるため、関係機関とより連 携を図り安定した予防接種事業の実施に取り組むことで、感染症対策による健康被害を最小限に留め、 高齢者の健康保持を目指していきます。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	高齢者インフルエンザ予防接種 数（広域的予防接種（新潟県医 師会）及び予診のみ含む）	活動実績	箇所	16,169	16,138	15,204
		活動見込	箇所	16,725	16,615	16,547
		達成度	%	96.7%	97.1%	91.9%
交付金事業の総事業費等	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考		
総事業費	58,274,784	58,698,395	55,366,684	令和3～5年度総事業費 172,339,863		
交付金充当額	55,000,000	55,000,000	55,000,000			
うち文部科学省分	0	0	0			
うち経済産業省分	55,000,000	55,000,000	55,000,000			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
高齢者インフルエンザ 予防接種業務委託		随意契約		柏崎・刈羽管内医療機関40者		55,366,684
交付金事業の担当課室		福祉保健部健康推進課				
交付金事業の評価課室		福祉保健部健康推進課				

Ⅱ．事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称				
8	福祉対策措置	予防接種事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市				
交付金事業実施場所		柏崎市一円				
交付金事業の概要		定期予防接種業務委託料11か月分。 予防接種法の規定に基づいて実施する定期予防接種は、市が予防接種業務委託医療機関へ委託料を支払うことで全額公費負担により実施し、接種率の向上と安定した事業の実施に取り組んでいます。また、本事業は市民に広く認知され、少子化に伴い予防接種費用の増額も見込まれる中で継続的に事業実施するための財源確保が求められます。本交付金の充当により安定的な事業実施を図り、感染症のり患やまん延を予防することで健康的な市民生活を確保します。				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関する主要政策・施策 柏崎市第五次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第3章 健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～ 第2節 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる 2 安心して子育てができる環境を充実させる 目標：予防接種率100%				
事業開始年度		令和4年度	事業終了（予定）年度		令和7年度	
事業期間の設定理由		柏崎市第五次総合計画 後期基本計画の終期まで				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	
		予防接種率 100%	接種者数÷接種対象者×100	成果実績	%	71.6
				目標値	%	100.0
				達成度	%	71.6
		評価年度の設定理由				
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施						

交付金事業の成果目標及び成果実績	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	本交付金の活用により、定期予防接種を安定して実施することができました。 令和4（2022）年度より子宮頸がん予防ワクチンの接種勧奨が再開されましたが、他のワクチンと比較すると接種率は伸び悩んでいます。令和6（2024）年度は、積極的勧奨を控えていた期間の対象者が接種を受けられる「キャッチアップ接種」の最終年度となるため、広報誌への記事の掲載や個別案内通知の発送を行い市民への周知を継続します。今後も、関係機関と連携して安定的な事業実施を図り、感染症のり患やまん延を予防することで、健康的な市民生活を目指していきます。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位		令和4年度	令和5年度
	定期予防接種数 （予診のみ含む）	活動実績	件数		9,834	10,062
		活動見込	件数		12,475	14,049
		達成度	%		78.8%	71.6%
交付金事業の総事業費等		令和4年度	令和5年度	備 考		
総事業費		98,148,105	105,261,836			
交付金充当額		65,319,000	80,000,000			
うち文部科学省分		0	0			
うち経済産業省分		65,319,000	80,000,000			
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額		
	定期予防接種業務委託	随意契約	柏崎刈羽管内の25医療機関	105,261,836		
交付金事業の担当課室	子ども未来部子育て支援課					
交付金事業の評価課室	子ども未来部子育て支援課					

Ⅱ．事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称			
9	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	産業文化会館管理運営事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市			
交付金事業実施場所		柏崎市駅前（柏崎市産業文化会館）			
交付金事業の概要		産業文化会館の指定管理料12か月分。 産業文化会館の安定的かつ効率的な管理運営と効果的な事業実施のため、指定管理者を指定し、「産業の振興と市民生活の向上、教育、文化の発展に寄与」を目的とし、利用者の誘致、拡大を目指すとともに市民生活の向上と発展を図ります。			
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関する主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第5章 魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～ 第3節 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる 2 市民の主體的な文化活動を支援する 施策の目標指標：産業文化会館利用者数 75,700人（令和7年度） 目標値：産業文化会館利用者数 75,700人（令和5年度）			
事業開始年度		令和3年度		事業終了（予定）年度	
事業期間の設定理由		令和7年度			
事業期間の設定理由		柏崎市第五次総合計画 後期基本計画の終期まで			
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度
	産業文化会館利用者数 75,700人	産業文化会館利用者数	成果実績	人	令和5年度
			目標値	人	56,979
			達成度	%	75,700
	75.3				
	評価年度の設定理由				
毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。					

交付金事業の成果目標及び成果実績	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	本交付金の活用により、産業文化会館の安定的かつ効率的な管理運営と効果的な事業を実施することができました。令和5年度の入館者数は、56,979人と目標としてきた75,700人に至らなかったものの、施設の利用者アンケートでは、利用者の総合評価で8割が「満足」又は「まあ満足」とし、自主事業においても満足度95%と高い評価を得ていることから、産業の振興及び教育並びに文化の発展に寄与しているものと評価します					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和5年度		
	平常に運営できた日 (開館日数)	活動実績	日	347		
		活動見込	日	347		
		達成度	%	100.0%		
交付金事業の総事業費等	令和5年度				備 考	
総事業費	55,639,707					
交付金充当額	15,319,000					
うち文部科学省分	0					
うち経済産業省分	15,319,000					
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法		契約の相手方		契約金額
	管理運営業務	随意契約（指定管理）		公益財団法人かしわざき振興財団		55,639,707
交付金事業の担当課室		教育委員会文化・生涯学習課				
交付金事業の評価課室		教育委員会文化・生涯学習課				

別紙

I. 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措 置 名	交付金事業の名称	交付金事業者 名又は間接交 付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係 る整備、維持補 修又は維持運営 等措置	除雪車整備事業	柏崎市	88,638,000	30,000,000	
2	公共用施設に係 る整備、維持補 修又は維持運営 等措置	田尻保育園整備事業	柏崎市	438,420,000	400,000,000	
計				527,058,000	430,000,000	

Ⅱ. 事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称			
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	除雪車整備事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市			
交付金事業実施場所		柏崎市一円（市道柏崎3-3号線ほか）			
交付金事業の概要		除雪ドーザ11t級1台、除雪ドーザ8t級1台、ロータリ除雪車2.2m級1台の更新 生活に身近な冬期間の道路交通を確保するため、本交付金を活用し、老朽化した除雪ドーザ等の除雪機械の更新を行い、道路除雪能力が向上することにより、安定した道路除雪体制の構築に努めます。			
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に係る主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 基本構想・後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第1章 防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～ 第3節 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる 2 安全な道路網を確保する 施策の目標指標： 除雪機械の更新台数（累計）現在値 73台（令和3年度） → 目標値 95台（令和7年度） 目標値： 冬期間における快適な市民生活と社会経済活動を維持するため、安全で安心な道路交通を確保する必要があり、計画的に除雪機械を更新することにより、除雪体制を維持して認定除雪路線の除雪率100％を成果目標とする。			
事業開始年度		令和4年度		事業終了（予定）年度	
事業期間の設定理由		—			
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度
	冬期間において安全で安心な道路交通を確保する	令和5(2023)年度に認定する除雪路線に対する除雪車の配車率	成果実績	%	100
			目標値	%	100
			達成度	%	100
	評価年度の設定理由				
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施				

交付金事業の成果目標及び 成果実績	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	交付金の活用により、老朽化した除雪ドーザ11t級、除雪ドーザ8t級、ロータリ除雪車2.2m級の更新を行い、道路除雪能力（作業効率）が向上されたところから、次年度以降の冬期間道路交通の安全確保を図ることができました。今後も老朽化した除雪機械の更新を行うことにより、劣化や老朽化に起因する故障や作業能力の低下によって発生する除雪時の交通障害を無くし、市民生活に必須の冬期間道路交通の更なる安全確保を図ります。						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	除雪機械更新台数		活動実績	台	3	3	3
			活動見込	台	3	3	3
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費等		令和3年度	令和4年度		令和5年度	備 考	
総事業費		27,500,000	67,364,000		88,638,000	令和3～令和5年度総事業費 183,502,000	
交付金充当額		20,000,000	50,000,000		30,000,000		
うち文部科学省分		0	0		0		
うち経済産業省分		20,000,000	50,000,000		30,000,000		
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
除雪ドーザ(11 t 級)		指名競争入札		吉祥天（株）		20,581,000	
除雪ドーザ(8 t 級)		指名競争入札		吉祥天（株）		15,312,000	
ロータリ除雪車(2.2m級)		指名競争入札		(株) コバリキ		52,745,000	
交付金事業の担当課室		都市整備部道路維持課					
交付金事業の評価課室		都市整備部道路維持課					

Ⅱ．事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称			
2	公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営等措置	田尻保育園整備事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市			
交付金事業実施場所		柏崎市大字安田			
交付金事業の概要		田尻保育園 園舎改築1棟及び子育て支援室新築1棟（2か年工事の1年目）。 田尻保育園の老朽化が進んでいることから、近隣の三ツ家農村公園の敷地に田尻保育園を移転改築し、子育て支援室を新築します。将来にわたり安心して保育ができる施設環境を整備し、子どもを産み育てやすい健やかな環境をつくります。 田尻保育園の移転改築により、近隣の保育園との将来的な統合の検討が可能になることで園児数が増加し、集団の中で園児の成長を支援する機能を十分に発揮することができるため、更なる保育の質の向上が望めます。			
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関係する主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第3章 健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～ 第2節 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる 2 安心して子育てができる環境を充実させる 目標値：田尻保育園を移転改築し、子どもを産み育てやすい健やかな環境をつくる。 移転改築後の園児数 200人			
事業開始年度		令和4年度		事業終了（予定）年度	
事業期間の設定理由		令和6年度			
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度
		移転改築後の園児数200人	移転改築後の入園児数	成果実績	人数
				目標値	人数
				達成度	%
		評価年度の設定理由			
成果実績を測定し次第、評価を実施。					

交付金事業の成果目標及び成果実績	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	本交付金の活用により、老朽化した保育園舎及び子育て支援室の新設工事の1年目（2か年工事）を実施しました。本年度は、建築本体工事60%、機械設備工事23%及び電気設備工事3%を確保しました。次年度も継続して工事を実施し、新園舎の完成を目指します。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	事業進捗率	活動実績	%	2.8%	38.4%	-
		活動見込	%	2.8%	38.4%	-
		達成度	%	100.0%	100.0%	-
交付金事業の総事業費等	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備 考		
総事業費	32,375,200	438,420,000	-	令和4～6年度総事業費 1,141,741,700		
交付金充当額	20,000,000	400,000,000	-			
うち文部科学省分	0	0	-			
うち経済産業省分	20,000,000	400,000,000	-			
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額		
	田尻保育園改築（建築本体）工事	制限付一般競争入札	（株）阿部建設	430,680,000		
	田尻保育園改築（機械設備）工事	制限付一般競争入札	日新設備工業（株）	6,510,000		
	田尻保育園改築（電気設備）工事	制限付一般競争入札	（株）協同電設	1,230,000		
交付金事業の担当課室	子ども未来部保育課					
交付金事業の評価課室	子ども未来部保育課					

別紙

I. 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措 置 名	交付金事業の名称	交付金事業者 名又は間接交 付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係 る整備、維持補 修又は維持運営 等措置	宝田北斗町線整備事業	柏崎市	34,720,400	20,000,000	
2	公共用施設に係 る整備、維持補 修又は維持運営 等措置	大日川改修事業	柏崎市	38,562,116	20,000,000	
計				73,282,516	40,000,000	

Ⅱ．事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	宝田北斗町線整備事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市	
交付金事業実施場所		柏崎市宝田、美穂田、東柳田	
交付金事業の概要		都市計画道路宝田北斗町線の道路改良関連工事 （排水フリーム（300*300）L=297m、排水フリーム（300*400）L=250m、集水柵工N=3基） 柏崎市街地の交通渋滞の緩和等を目的に、国道8号柏崎バイパスを中心とした幹線道路ネットワークの整備が進められています。中心市街地と国道8号柏崎バイパスを繋ぐ重要な路線である本路線を、国道8号柏崎バイパスの供用開始に合わせ整備します。	
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に係る主要政策・施策： 柏崎市第五次総合計画 基本構想・後期基本計画（令和4（2022）年度～令和7（2025）年度） 第3編 第1章 防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～ 第3節 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる 1 社会基盤を機能的に整備する 目標値：都市計画道路の改良率 70.5% （令和5年3月現在：69.4% 柏崎市の都市計画より）	
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度 令和9年度
事業期間の設定理由		令和9年度の完成を予定しているため	

交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和9年度
	都市計画道路 の改良率	改良延長÷ 全延長	成果実績	%	-			
			目標値	%	-			
			達成度	%	-			
	評価年度の設定理由							
	成果実績を測定し次第、評価を実施。							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	本交付金の活用により、今年度は近接する水田の排水路となる排水フリームの施工が完了しました。 来年度以降は軟弱地盤対策工事を順次実施し、国道8号柏崎バイパスの供用開始に合わせ事業が完了する よう努めてまいります。							
評価に係る第三者機関等の活用の有無								
無								
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	事業進捗率		活動実績	%	6.9%	21.7%	3.8%	
			活動見込	%	6.9%	21.7%	3.9%	
			達成度	%	100.0%	100.0%	97.4%	
交付金事業の総事業費等		令和3年度	令和4年度	令和5年度		備 考		
総事業費		35, 816, 000	197, 236, 018	34, 720, 400		令和5年度までの総事業費 294, 535, 418 宝田北斗町線の総事業費 910, 704, 000		
交付金充当額		30, 000, 000	195, 000, 000	20, 000, 000				
うち文部科学省分		0	0	0				
うち経済産業省分		30, 000, 000	195, 000, 000	20, 000, 000				
交付金事業の契約の概要								
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額		
道路改良関連工事		制限付き一般競争入札		大和運送建設（株）		34, 720, 400円		
交付金事業の担当課室		都市整備部都市計画課						
交付金事業の評価課室		都市整備部都市計画課						

Ⅱ．事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称			
2	公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営等措置	大日川改修事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市			
交付金事業実施場所		柏崎市大字花田			
交付金事業の概要		普通河川大日川の河川改修工事に伴う水道管移設補償工事 L=49.8m 国道8号横断部の流下能力不足による浸水被害を軽減するため、バイパス水路を新設し、治水安全度を向上させると共に必要流下能力を確保します。			
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に係る主要政策・施策 柏崎市第五次総合計画 後期基本計画（令和4（2022）年度～令和7（2025）年度） 第1章 防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～ 第1節 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる 2 自然災害に備えた対策を進める 目標値：土合新田排水路から普通河川大日川国道8号横断上流部までの213.3m区間の計画流量 12.88m³/s			
事業開始年度		令和3年度		事業終了（予定）年度 令和7年度	
事業期間の設定理由		令和7年度完成を予定しているため			
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度 令和7年度
		対象区間の計画流量 12.88m³/s	河川流量	成果実績	m³/s -
				目標値	m³/s 12.88
				達成度	% -
		評価年度の設定理由			
		成果実績を確認し次第、評価を実施。			

交付金事業の成果目標及び成果実績	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	本交付金の活用により、普通河川大日川の河川改修事業を実施し、今年度は河川改修に伴う水道管移設補償工事の施工が完了しました。次年度以降L=116. 3mの河川改修を順次実施することで、対象区間の計画流量12. 88m3/sを確保し、周辺地域の治水安全度の向上できるよう努めてまいります。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	工事進捗率	活動実績	%	25. 9%	13. 8%	23. 4%
		活動見込	%	25. 9%	13. 8%	24. 0%
		達成度	%	100%	100%	97. 5%
交付金事業の総事業費等		令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
総事業費		42, 746, 000	22, 696, 300	38, 562, 116	令和3～7年度総事業費 164, 947, 000円	
交付金充当額		35, 000, 000	10, 000, 000	20, 000, 000		
うち文部科学省分		0	0	0		
うち経済産業省分		35, 000, 000	10, 000, 000	20, 000, 000		
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
水道管移設補償工事		随意競争入札		柏崎市上下水道局		38, 562, 116
交付金事業の担当課室		都市整備部道路河川課				
交付金事業の評価課室		都市整備部道路河川課				

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	公共用施設維持補修事業基金造成事業	柏崎市	30,000,000	30,000,000	
2	福祉対策措置	医療施設等整備費補助事業基金造成事業	柏崎市	50,000,000	50,000,000	
計				80,000,000	80,000,000	

Ⅱ．事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	公共施設維持補修事業基金造成事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市				
交付金事業実施場所		柏崎市一円				
交付金事業の概要		柏崎市内の側溝補修及び舗装補修工事による市道維持補修。 市内全域の生活道路として利用する沿線住民の安全性、利便性及び快適性を高めるため、老朽化の進んだ道路側溝を更新し、吸出しによる路面陥没の防止、排水不良による水溜りの解消を図ります。また、傷んだ舗装を補修することにより、道路交通の安全性の確保を図ります。 本交付金を活用し、次年度以降に実施する事業に係る基金造成を行います。				
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関係する主要政策・施策 柏崎市第五次総合計画 基本構想・前期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第1章 防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～ 第3節 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる 1 社会基盤を機能的に整備する 目標：生活道路として利用する沿線住民の安全性、利便性及び快適性を高める				
事業開始年度		平成29年度	事業終了（予定）年度	令和7年度		
事業期間の設定理由		柏崎市第五次総合計画 基本構想・後期基本計画の終期まで				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	
		生活道路として利用する沿線住民の安全性、利便性及び快適性を高める	—	成果実績	件	—
				目標値	件	—
				達成度	%	—
交付金事業の成果目標及び成果実績		評価年度の設定理由				
		毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施				
		交付金事業の定性的な成果及び評価等				
		本交付金を活用し、公共用施設の維持補修に必要な基金を造成することができました。今後は、本基金を有効活用して必要な市道補修を継続的に行い、良好な施設環境を維持することで、生活道路として利用する沿線住民の安全性、利便性及び快適性を高めることが期待されます。				
		評価に係る第三者機関等の活用の有無				
		無				

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	基金造成額		活動実績	円	30,000,000	30,000,000
			活動見込	円	30,000,000	30,000,000
			達成度	%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費等	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考		
総事業費	30,000,000	30,000,000	30,000,000			
交付金充当額	30,000,000	30,000,000	30,000,000			
うち文部科学省分	0	0	0			
うち経済産業省分	30,000,000	30,000,000	30,000,000			
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額	
基金造成		積立	-		30,000,000	
交付金事業の担当課室		総合企画部電源エネルギー戦略室				
交付金事業の評価課室		総合企画部電源エネルギー戦略室				

Ⅱ．事業評価個表（令和5年度）

番号	措置名	交付金事業の名称				
2	福祉対策措置	医療施設等整備費補助事業基金造成事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		柏崎市				
交付金事業実施場所		柏崎市一円				
交付金事業の概要		医療機関の持続的な運営と医療の質を担保し、地域完結型の医療体制を堅持するため、医療施設や機器の整備費に対する補助制度を設け、柏崎市内の医療機関を支援しています。 地域医療を堅持していくためには、最先端の医療機器への入替を進める必要がありますが、高額であり、これまで以上に支援を強化していくことが求められるため、現行補助制度の拡充を行います。				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		交付金事業に関係する主要政策・施策 柏崎市第五次総合計画 基本構想・後期基本計画（令和4年度～令和7年度） 第3章 健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～ 第1節 『健やかな』心と体をはぐくむ 2 安心できる医療体制を堅持する 目標：市民が安心できる医療体制を確保し、地域福祉の向上を目指す				
事業開始年度		令和4年度	事業終了（予定）年度	令和9年度		
事業期間の設定理由		医療施設等整備費補助事業基金事業計画の終期まで				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	
		市民が安心できる医療体制を確保し、地域福祉の向上を目指す	—	成果実績	件	—
				目標値	件	—
				達成度	%	—
交付金事業の成果目標及び成果実績		評価年度の設定理由				
		毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施				
		交付金事業の定性的な成果及び評価等				
		本交付金を活用して基金を造成することにより、医療機器の整備を行う財源を確保することができました。地域医療堅持のために、救急医療、災害医療及びがん診断等の診療部門の維持並びに医療人材の確保のため、計画的かつ継続的に医療機器の新設や更新を進めていきます。				
		評価に係る第三者機関等の活用の有無				
		無				

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	
	基金造成額		活動実績	円	30,000,000	50,000,000
			活動見込	円	30,000,000	50,000,000
			達成度	%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費等	令和4年度	令和5年度				備 考
総事業費	30,000,000	50,000,000				
交付金充当額	30,000,000	50,000,000				
うち文部科学省分	0	0				
うち経済産業省分	30,000,000	50,000,000				
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額	
基金造成		積立	-		50,000,000	
交付金事業の担当課室		福祉保健部国保医療課				
交付金事業の評価課室		福祉保健部国保医療課				